

到達目標に関する調査分析結果

— 新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究成果より —

研究の概要

【研究事業名】

平成24・25年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)に係る研究事業

【研究課題】

新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究

【研究代表者】

日本赤十字看護大学教授 佐々木幾美

【目的】

新人看護職員研修制度開始後の研修の実態および研修に対する意識や実施上の課題を明らかにし、新人看護職員研修の更なる普及方法を検討することである。

【方法】

- ①無記名自記式質問紙法による実態調査
- ②新人看護職員研修事業実施施設からの報告データを分析

実態調査について

【研究デザイン】無記名自記式質問紙法による実態調査

【調査対象】病院及び有床診療所に勤務する、①研修責任者^(※1)、②教育担当者^(※2)、③実地指導者^(※3)、④新人看護職員。

※1 研修責任者:施設及び看護部門の教育方針に基づき、教育担当者、実地指導者及び新人看護職員の研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う者。研修の企画、運営、実施、評価の全ての過程における責任者。

※2 教育担当者:看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者。実地指導者への助言及び指導、また、新人看護職員へ指導、評価を行う者。

※3 実地指導者:新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導、評価等を行う者。

【標本数及び対象者数】研修責任者に対しては、各施設1部ずつ配布を依頼した。教育担当者、実地指導者、新人看護職員に対しては、施設病床数によって1～3部ずつ配布を依頼した。

	標本数	研修責任者	教育担当者	実地指導者	新人看護職員
病院	199床以下	1,244	1,244	1,244	1,244
	200～399床	384	384	768	768
	400床以上	172	172	516	516
有床診療所	200	200	200	200	200
合計	2,000	2,000	2,728	2,728	2,728

実態調査について

【調査期間】平成24年12月～平成25年3月

【サンプリング】

病院: 調査対象施設は、都道府県及び病床規模(届出病床数)別に層化抽出法によって無作為抽出した。全日本病院協会から使用許諾が得られた全国病院一覧データに基づき、全国の病院を都道府県別の病院数と施設病床数に層化した。各層の比例抽出により、一覧データから選択した。

有床診療所: 平成23年度および24年度に新人看護職員を採用している有床診療所について、全国有床診療所協議会から情報提供の許諾を得て、そのリストから200施設を抽出した。

【質問紙の配布と回収】各病院の看護部門の長宛てに、研究の説明と協力依頼の文書および各対象者宛ての文書と質問紙を送付し、各個人から個別の封筒で質問紙を返送してもらうようにした。

実態調査の回収状況

1. 有効回収数および有効回収率

対象者(配布数)		有効回収数	有効回収率
研修責任者(2,000)		700件	35.0%
内 訳	病院(1,800)	650件	36.1%
	有床診療所(200)	50件	25.0%
教育担当者(2,528)		723件	28.6%
実地指導者(2,528)		669件	26.5%
新人看護職員(2,528)		622件	24.6%

2. 回答病院の許可病床数

許可病床数	n	%
20～99床以下	141	21.7
100～199床以下	423	65.1
200～499床以下	187	28.8
500床以上	33	5.1
無回答	7	1.1
合計	650	100.0

資料の内容

○到達目標に関する調査分析結果

- 1) 到達目標の項目別到達状況
- 2) 実施頻度と到達状況
- 3) 到達目標の妥当性

1) 到達目標の項目別到達状況

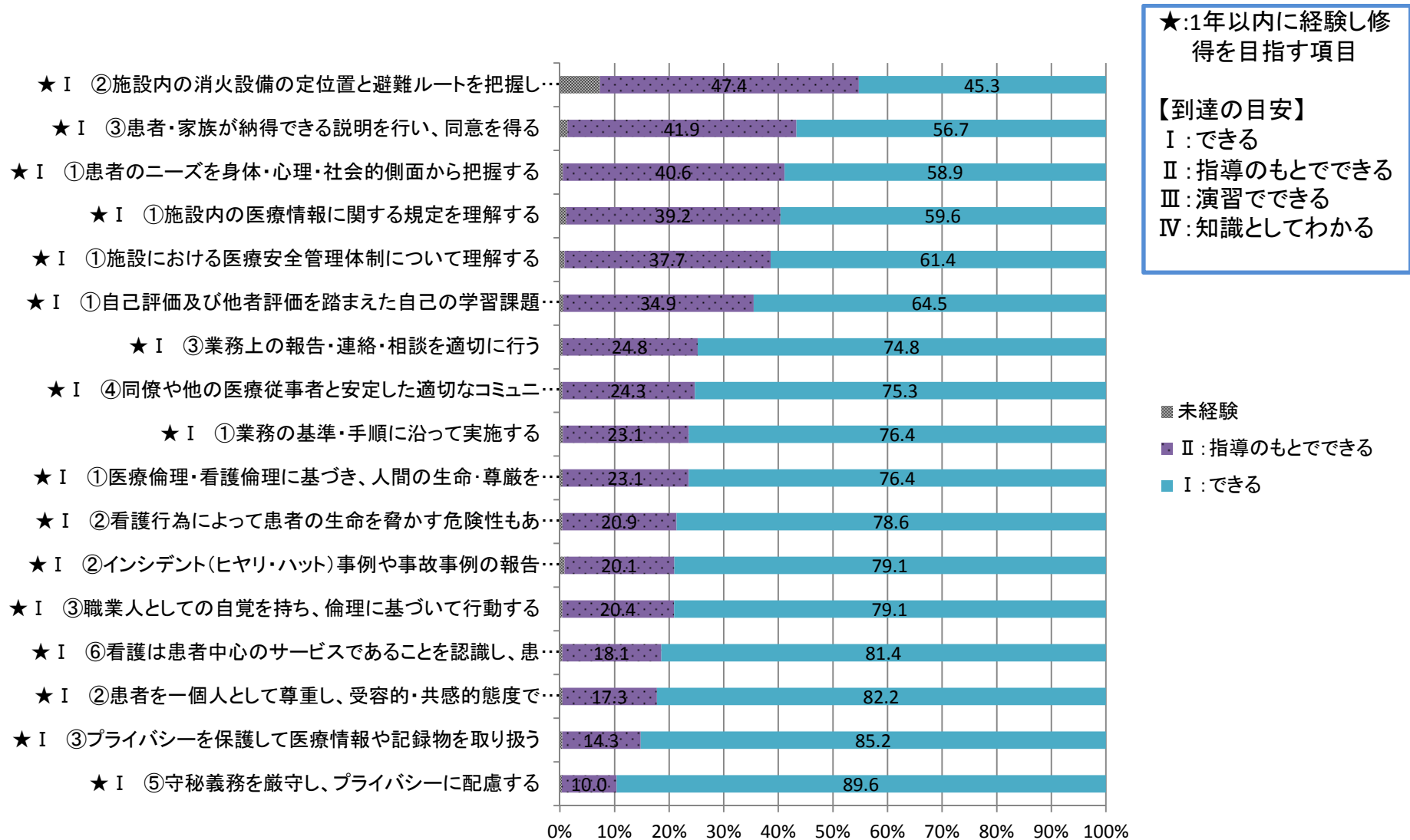
○平成23年度新人看護職員研修事業実施施設(病院のみ)^(※1)における新人看護職員の3月の個々の到達状況^(※2)を他者評価^(※3)により評価したもの。

※1 到達状況のデータの提供に協力が得られた医療機関(1762機関)。

※2 新人看護職員研修ガイドラインにおける到達目標の各項目についての到達状況。
【到達の目安】 I:できる II:指導の下でできる III:演習でできる IV:知識としてわかる

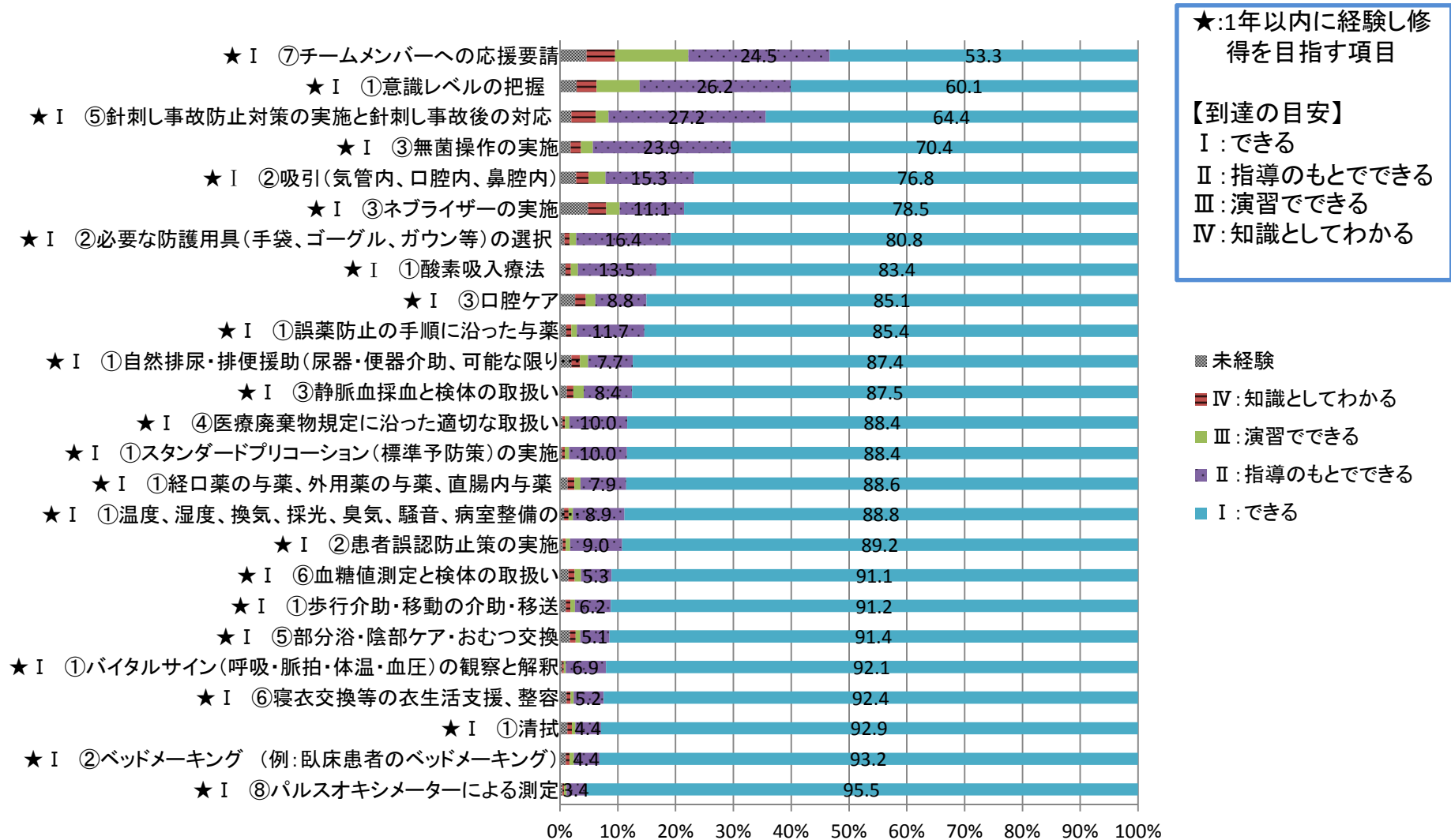
※3 新人看護職員が自己評価し、教育担当者や所属長が認めたものも他者評価に含む。

「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「管理的側面」 到達目標の項目別到達状況：到達の目安が「★ I」の項目



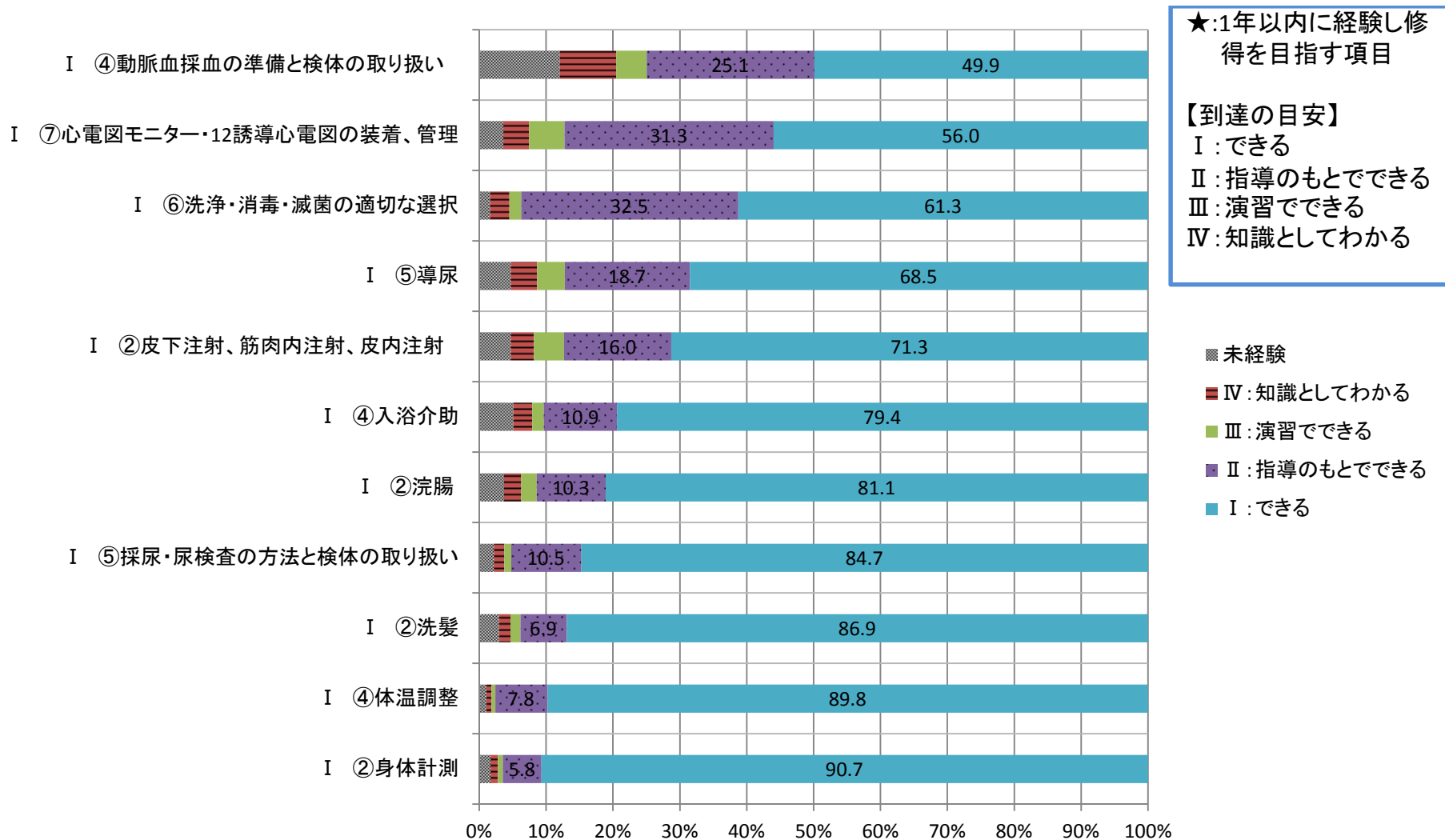
「技術的側面」

到達目標の項目別到達状況：到達の目安が「★ I」の項目

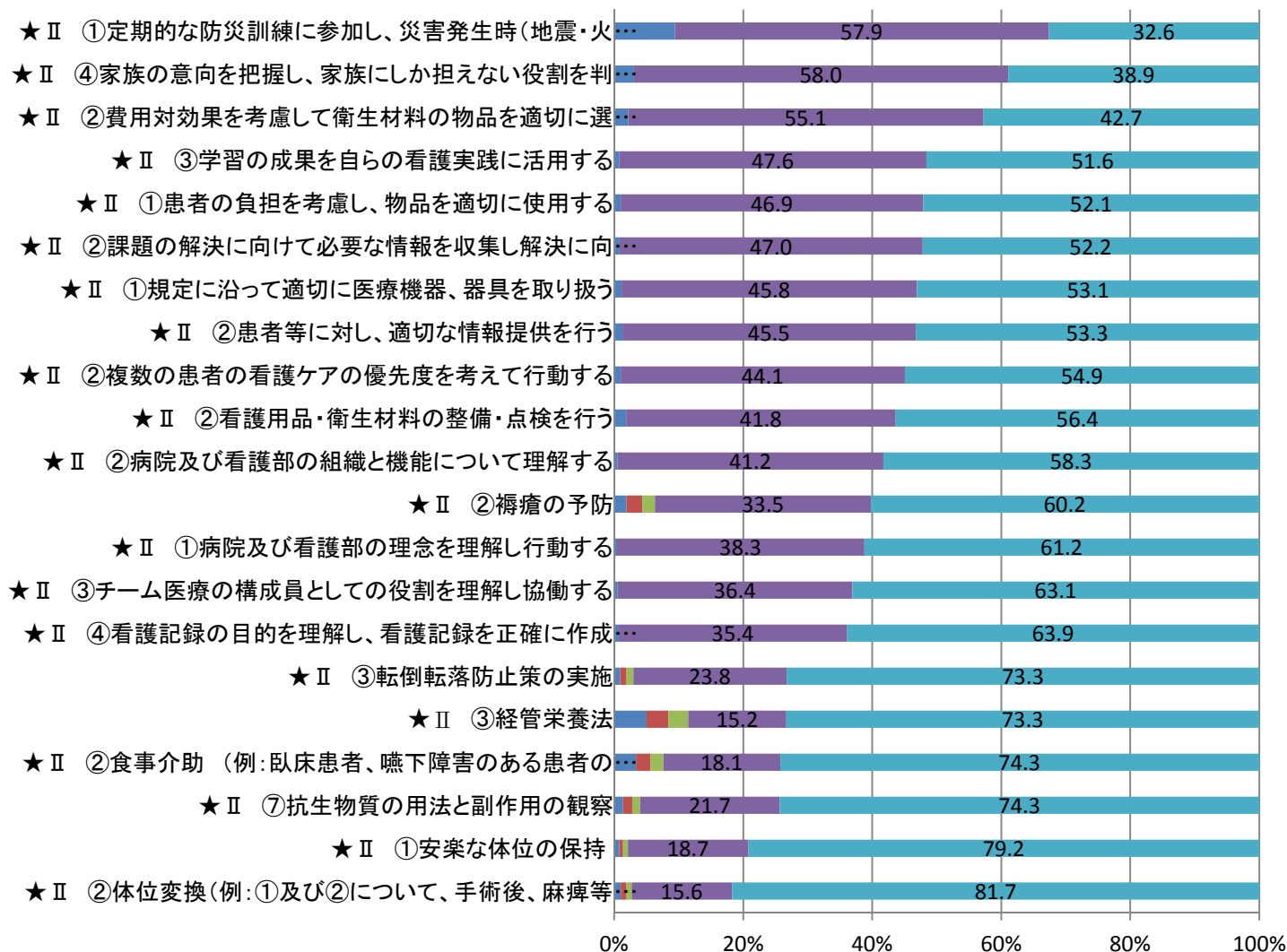


「技術的側面」

到達目標の項目別到達状況：到達の目安が「Ⅰ」の項目



「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「管理」「技術的側面」 到達目標の項目別到達状況：目標の目安が「★Ⅱ」の項目



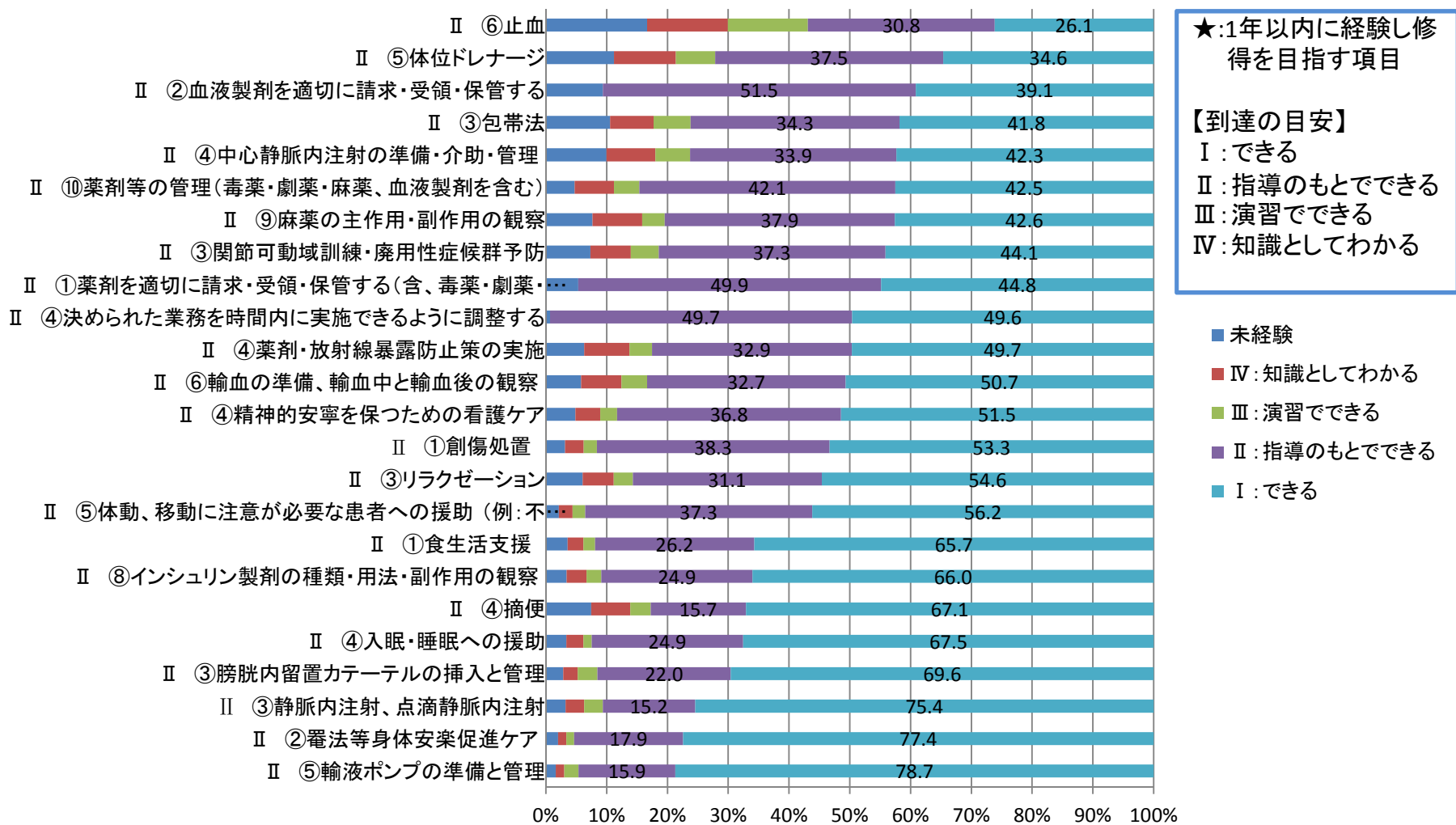
★:1年以内に経験し修得を目指す項目

【到達の目安】

- I : できる
- II : 指導のもとでできる
- III : 演習でできる
- IV : 知識としてわかる

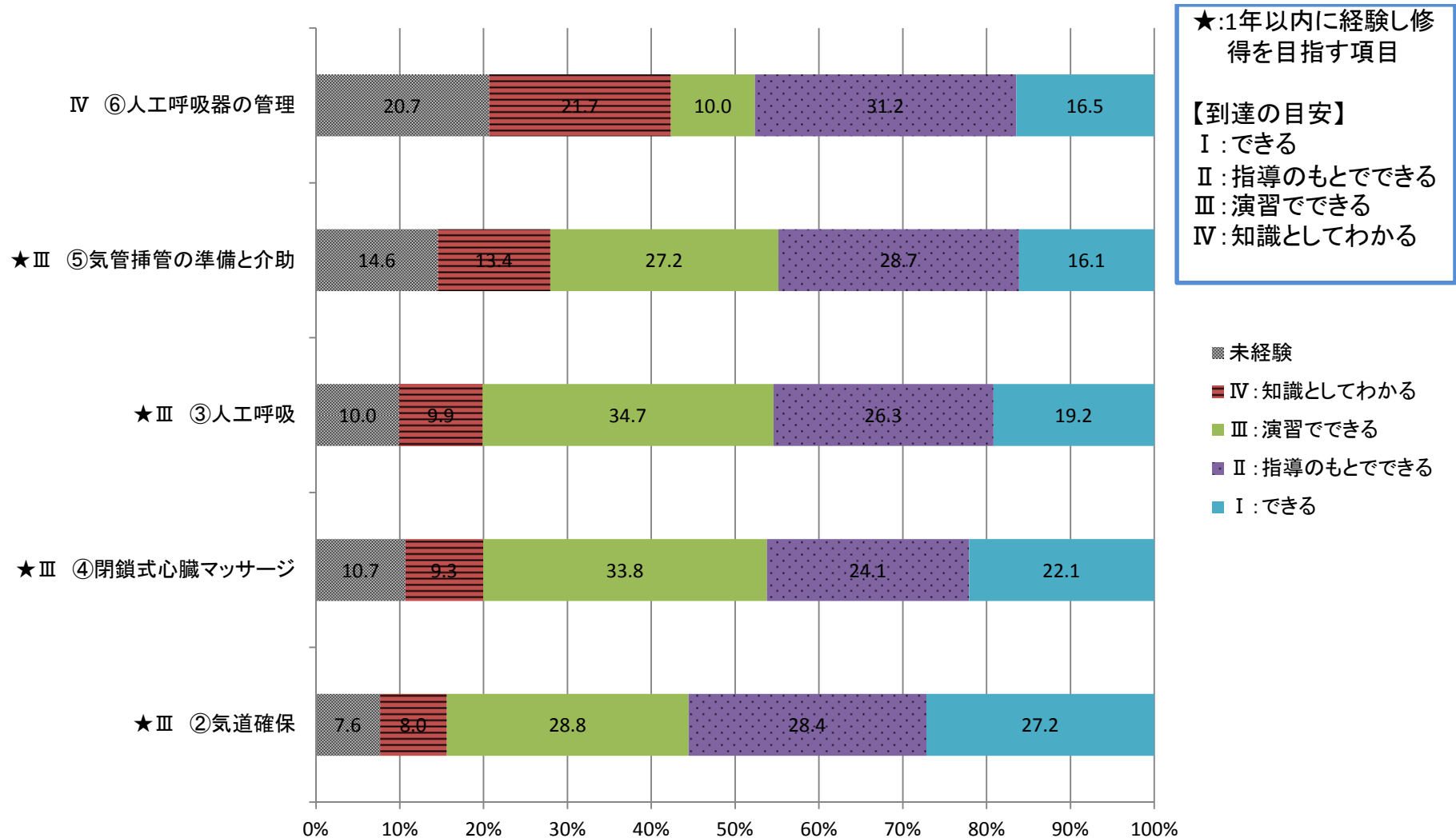
- 未経験
- IV : 知識としてわかる
- III : 演習でできる
- II : 指導のもとでできる
- I : できる

「管理的側面」「技術的側面」 到達目標の項目別到達状況：目標の目安が「Ⅱ」の項目



「技術的側面」

到達目標の項目別到達状況: 到達の目安が「★Ⅲ & Ⅳ」の項目



2) 実施頻度と到達状況

- 病院に勤務する実地指導者の無記名自記式質問紙法による実態調査結果
- 実地指導者が、担当している新人看護職員が当該項目を実施する頻度(※1)とその到達度(※2)を回答

※1 実施頻度については、5段階で評価

1:全くない 2:ほとんどない 3:時々 4:しばしばある 5:日常的にある

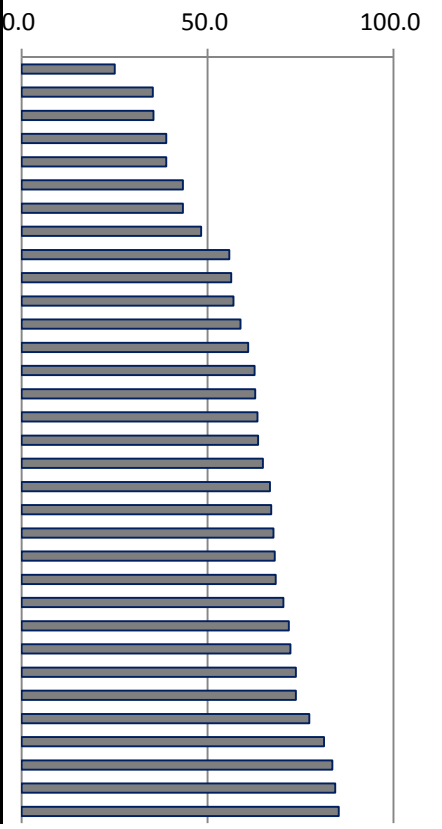
※2 新人看護職員研修ガイドラインにおける到達目標の各項目についての到達度は、全体の人数における各到達の目安に達している者の合計を割合で示した。到達の目安については以下のとおり。

【到達の目安】 I:できる II:指導の下でできる III:演習でできる IV:知識としてわかる

実施頻度「全くない」「ほとんどない」の割合の合計が10%以上の到達状況<病院全体>

★:1年以内に経験し修得を目指す項目 【到達の目安】 I :できる II :指導のもとでできる III :演習でできる IV :知識としてわかる	実地指導者 (n=530)						実地指導者 (n=530)						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	看護活動の実施頻度						到達度						
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無回答	
★ I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	8.7	22.8	30.4	9.8	23.2	5.1	25.1	31.9	12.1	15.1	10.0	5.8	25.1
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	2.3	11.7	24.3	17.7	39.2	4.7	35.3	44.9	8.1	3.4	2.8	5.5	35.3
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	10.8	14.9	27.5	14.0	28.1	4.7	35.5	36.6	4.3	9.6	8.1	5.8	35.5
★ I チームメンバーへの応援要請	5.3	23.4	34.7	15.8	16.0	4.7	38.9	29.1	11.7	11.1	4.0	5.3	38.9
★ I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	6.0	21.7	13.0	7.2	46.2	5.8	38.9	35.7	2.6	12.6	5.3	4.9	38.9
★ I 無菌操作の実施	4.0	8.7	18.3	20.4	43.8	4.9	43.4	39.6	2.6	6.0	2.6	5.7	43.4
★ I 意識レベルの把握	2.6	8.7	25.5	18.5	40.2	4.5	43.4	37.7	3.4	7.9	2.6	4.9	43.4
II 止血	12.6	40.0	25.1	9.1	8.1	5.1	12.8	35.5	15.7	20.0	10.4	5.7	48.3
★ II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	5.3	20.9	45.1	7.5	16.4	4.7	13.0	42.8	17.2	14.0	8.1	4.9	55.8
★ III 気管挿管の準備と介助	23.6	43.0	21.1	4.7	3.0	4.5	2.8	22.1	31.5	24.9	13.8	4.9	56.4
I 導尿	1.3	10.6	34.9	20.4	28.9	4.0	57.0	30.4	3.2	2.8	1.5	5.1	57.0
★ III 人工呼吸	32.1	37.0	20.0	3.4	2.8	4.7	4.2	19.6	35.1	24.2	11.3	5.7	58.9
I 入浴介助	6.4	6.8	11.9	15.3	55.3	4.3	60.9	24.5	1.9	3.4	3.4	5.8	60.9
II 体位ドレナージ	8.9	20.2	21.7	17.9	26.6	4.7	16.4	46.2	7.0	16.0	8.5	5.8	62.6
★ III 閉鎖式心臓マッサージ	28.3	42.6	20.8	2.3	1.3	4.7	6.2	17.7	38.9	20.6	11.3	5.3	62.8
IV 人工呼吸器の管理	36.0	13.8	20.8	8.5	16.4	4.5	5.5	27.9	6.4	23.6	31.3	5.3	63.4
II 包帯法	11.3	33.2	21.9	11.1	17.9	4.5	20.9	42.6	7.2	12.3	10.6	6.4	63.6
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	7.5	20.0	20.8	17.4	29.2	5.1	20.4	44.5	7.0	11.1	10.8	6.2	64.9
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	12.3	13.0	24.0	17.2	29.1	4.5	24.0	42.8	6.4	10.9	10.2	5.7	66.8
★ I ネブライザーの実施	5.8	10.0	16.6	12.3	50.9	4.3	67.2	18.7	2.3	4.5	2.3	5.1	67.2
★ III 気道確保	14.5	39.8	30.4	5.8	4.9	4.5	7.4	29.8	30.6	20.0	7.0	5.3	67.7
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	11.9	10.9	28.5	17.0	27.4	4.3	14.0	54.2	5.8	10.4	10.8	4.9	68.1
II 麻薬の主作用・副作用の観察	12.1	17.0	25.1	17.0	24.0	4.9	21.7	46.6	3.4	13.2	9.6	5.5	68.3
II リラクゼーション	5.5	16.2	24.5	18.1	29.1	6.6	30.4	40.0	5.7	8.5	8.9	6.6	70.4
II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	13.2	9.2	30.9	19.4	22.5	4.7	30.0	41.9	3.2	11.1	8.5	5.3	71.9
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	7.0	12.5	17.9	14.5	42.8	5.3	27.4	44.9	4.3	9.1	8.7	5.7	72.3
I 洗髪	4.7	7.5	15.8	15.7	51.9	4.3	73.8	11.9	2.6	2.8	3.4	5.5	73.8
II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	4.0	11.7	22.8	21.1	35.5	4.9	20.0	53.8	2.5	11.5	6.8	5.5	73.8
II 精神的安寧を保つための看護ケア	2.3	8.1	24.9	22.5	36.6	5.7	25.5	51.9	3.2	7.5	6.2	5.7	77.4
II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	2.5	7.2	12.8	21.5	51.7	4.3	21.5	59.8	3.0	5.5	5.3	4.9	81.3
★ II 経管栄養法	7.0	8.1	14.3	12.8	53.8	4.0	63.4	20.2	2.8	4.5	4.0	5.1	83.6
II 輸液ポンプの準備と管理	5.8	4.3	13.4	17.9	54.0	4.5	57.9	26.4	3.6	4.0	2.8	5.3	84.3
II 摘便	3.8	10.0	24.5	19.6	37.9	4.2	61.5	23.8	2.6	3.4	3.6	5.1	85.3

「目標の目安」に達している者の合計の割合



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

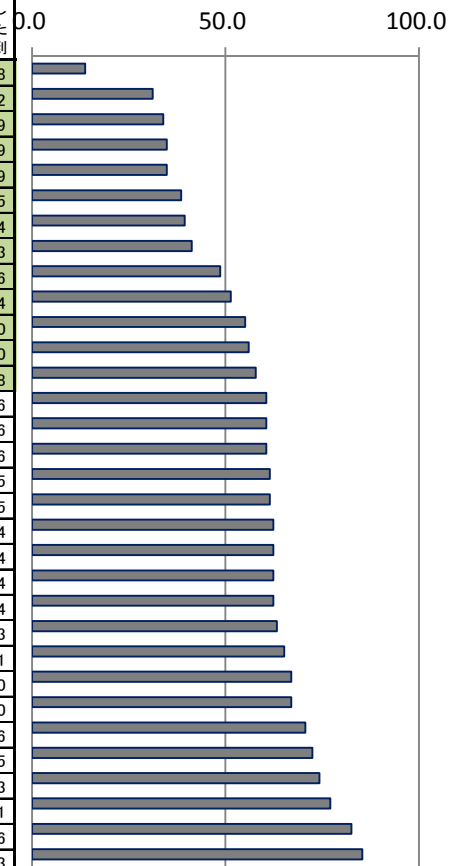
実施頻度「全くない」「ほとんどない」の割合の合計が10%以上での到達状況<20~99床>

99床以下
実地指導者(n=109)

99床以下
実地指導者(n=109)

★:1年以内に経験し修得を目指す項目	看護活動の実施頻度						到達度						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無 回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無 回答	
【到達の目安】 I:できる II:指導のもとでできる III:演習でできる IV:知識としてわかる													
★I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	14.7	21.1	34.9	6.4	18.3	4.6	13.8	32.1	16.5	21.1	11.0	5.5	13.8
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	1.8	12.8	24.8	17.4	39.4	3.7	31.2	43.1	12.8	5.5	1.8	5.5	31.2
★I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	3.7	20.2	21.1	5.5	45.0	4.6	33.9	35.8	5.5	14.7	6.4	3.7	33.9
★I チームメンバーへの応援要請	1.8	25.7	38.5	17.4	12.8	3.7	34.9	28.4	14.7	14.7	2.8	4.6	34.9
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	10.1	14.7	33.0	11.9	25.7	4.6	34.9	38.5	4.6	5.5	11.9	4.6	34.9
II 止血	12.8	45.9	21.1	6.4	10.1	3.7	13.8	24.8	21.1	22.0	11.9	6.4	38.5
★I 無菌操作の実施	5.5	7.3	12.8	18.3	50.5	5.5	39.4	38.5	3.7	10.1	2.8	5.5	39.4
★I 意識レベルの把握	1.8	8.3	27.5	16.5	42.2	3.7	41.3	35.8	5.5	8.3	4.6	4.6	41.3
★II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	5.5	15.6	54.1	5.5	14.7	4.6	8.3	40.4	20.2	13.8	11.9	5.5	48.6
★III 人工呼吸	27.5	40.4	25.7	1.8	0.9	3.7	4.6	18.3	28.4	32.1	11.9	4.6	51.4
★III 気管挿管の準備と介助	18.3	45.9	26.6	4.6	0.9	3.7	2.8	23.9	28.4	24.8	15.6	4.6	55.0
I 入浴介助	9.2	8.3	8.3	9.2	61.5	3.7	56.0	24.8	0.9	3.7	8.3	6.4	56.0
II 包帯法	9.2	37.6	23.9	11.0	13.8	4.6	21.1	36.7	8.3	12.8	14.7	6.4	57.8
★III 閉鎖式心臓マッサージ	27.5	42.2	22.9	2.8	0.9	3.7	3.7	21.1	35.8	21.1	13.8	4.6	60.6
II 体位ドレナージ	6.4	19.3	26.6	14.7	29.4	3.7	15.6	45.0	6.4	20.2	7.3	5.5	60.6
I 洗髪	6.4	12.8	15.6	18.3	43.1	3.7	60.6	18.3	4.6	4.6	7.3	4.6	60.6
II リラクゼーション	7.3	17.4	25.7	11.9	30.3	7.3	21.1	40.4	9.2	11.0	11.0	7.3	61.5
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	11.9	13.8	20.2	19.3	30.3	4.6	25.7	35.8	7.3	9.2	14.7	7.3	61.5
IV 人工呼吸器の管理	35.8	13.8	24.8	5.5	16.5	3.7	5.5	27.5	5.5	23.9	33.9	3.7	62.4
II 麻薬の主作用・副作用の観察	16.5	12.8	27.5	18.3	18.3	6.4	21.1	41.3	6.4	11.9	13.8	5.5	62.4
★III 気道確保	8.3	43.1	37.6	3.7	3.7	3.7	7.3	29.4	25.7	25.7	6.4	5.5	62.4
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	10.1	22.9	13.8	16.5	31.2	5.5	15.6	46.8	3.7	13.8	11.9	8.3	62.4
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	11.0	11.9	36.7	16.5	20.2	3.7	8.3	55.0	9.2	8.3	14.7	4.6	63.3
II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	7.3	19.3	21.1	20.2	27.5	4.6	13.8	51.4	3.7	15.6	10.1	5.5	65.1
II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	11.0	11.9	33.9	18.3	20.2	4.6	28.4	38.5	3.7	11.0	11.9	6.4	67.0
★I ネブライザーの実施	3.7	7.3	17.4	15.6	52.3	3.7	67.0	20.2	3.7	1.8	2.8	4.6	67.0
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	8.3	10.1	20.2	11.0	45.9	4.6	22.9	47.7	5.5	11.0	8.3	4.6	70.6
II 精神的安寧を保つための看護ケア	4.6	8.3	29.4	20.2	33.0	4.6	16.5	56.0	4.6	10.1	8.3	4.6	72.5
II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	3.7	9.2	15.6	21.1	45.9	4.6	15.6	58.7	2.8	7.3	10.1	5.5	74.3
II 輸液ポンプの準備と管理	3.7	7.3	17.4	17.4	49.5	4.6	47.7	29.4	9.2	5.5	2.8	5.5	77.1
II 入眠・睡眠への援助	4.6	8.3	9.2	17.4	56.9	3.7	37.6	45.0	0.9	7.3	4.6	4.6	82.6
★II 経管栄養法	10.1	3.7	12.8	5.5	65.1	2.8	70.6	14.7	0.9	4.6	6.4	2.8	85.3

「目標の目安」に達している者の合計の割合



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

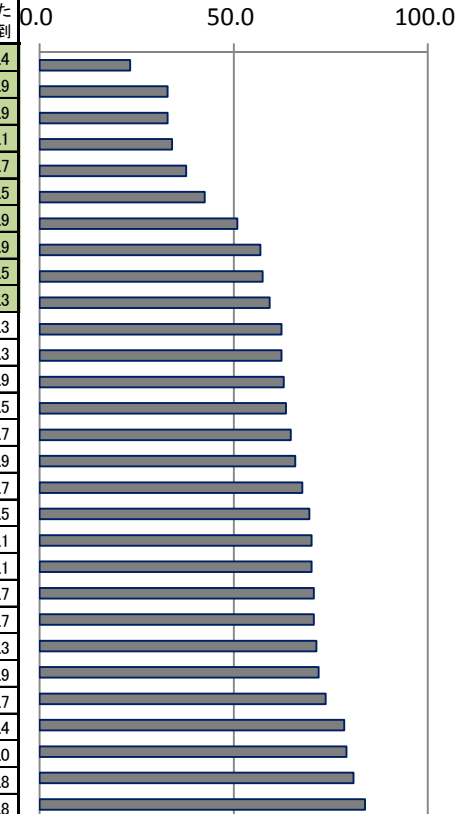
実施頻度「全くない」「ほとんどない」の割合の合計が10%以上での到達状況<100~199床>

100~199床
実地指導者(n=167)

100~199床
実地指導者(n=167)

★:1年以内に経験し修得を目指す項目	看護活動の実施頻度						到達度						目標の目安を基準とした到達度の合計の割合
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人でできる	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる	5 わからない	無回答	
【到達の目安】 I:できる II:指導のもとでできる III:演習でできる IV:知識としてわかる													
★Ⅰ 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	6.0	29.9	26.3	12.0	19.8	6.0	23.4	34.1	7.2	15.6	13.8	6.0	23.4
Ⅰ 動脈採血の準備と検体の取扱い	5.4	16.2	29.3	18.0	26.3	4.8	32.9	40.7	4.8	10.8	6.0	4.8	32.9
Ⅰ 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	1.8	11.4	27.5	13.2	40.7	5.4	32.9	47.3	6.6	4.2	4.2	4.8	32.9
★Ⅰ チームメンバーへの応援要請	6.6	24.0	36.5	15.0	13.2	4.8	34.1	29.9	12.0	12.0	6.6	5.4	34.1
★Ⅰ 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	9.6	19.2	10.2	9.6	46.1	5.4	37.7	36.5	1.2	12.0	7.2	5.4	37.7
★Ⅰ 無菌操作の実施	4.8	9.0	18.6	22.2	40.7	4.8	42.5	40.7	2.4	3.6	4.8	6.0	42.5
Ⅱ 止血	13.2	37.7	26.9	7.8	9.0	5.4	12.6	38.3	10.2	21.0	12.6	5.4	50.9
★Ⅲ 気管挿管の準備と介助	22.8	37.7	26.3	6.6	2.4	4.2	1.8	23.4	31.7	21.6	16.8	4.8	56.9
Ⅰ 導尿	1.2	12.0	38.3	18.0	26.9	3.6	57.5	32.3	3.0	1.2	1.2	4.8	57.5
★Ⅱ 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	3.0	24.0	41.3	9.6	18.0	4.2	13.2	46.1	16.2	12.0	9.0	3.6	59.3
★Ⅲ 閉鎖式心臓マッサージ	28.1	38.3	25.7	2.4	0.6	4.8	4.2	18.0	40.1	19.8	13.2	4.8	62.3
★Ⅲ 人工呼吸	27.5	35.9	22.2	6.0	3.0	5.4	3.0	22.8	36.5	18.6	13.2	6.0	62.3
Ⅱ 体位ドレナージ	4.2	25.7	18.6	19.8	27.5	4.2	15.0	47.9	7.2	14.4	10.8	4.8	62.9
Ⅰ 入浴介助	5.4	7.2	12.6	18.6	52.7	3.6	63.5	22.8	3.0	4.2	2.4	4.2	63.5
Ⅱ 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	6.6	16.8	22.2	16.8	32.9	4.8	17.4	47.3	7.8	10.2	13.2	4.2	64.7
Ⅳ 人工呼吸器の管理	26.9	15.0	24.6	8.4	21.6	3.6	5.4	35.3	7.8	17.4	29.9	4.2	65.9
Ⅱ 包帯法	10.8	29.9	22.2	7.8	25.7	3.6	18.6	49.1	5.4	12.0	9.6	5.4	67.7
★Ⅲ 気道確保	14.4	35.3	34.7	6.6	4.8	4.2	4.2	34.1	31.1	16.8	9.0	4.8	69.5
Ⅱ 麻薬の主作用・副作用の観察	6.6	18.0	27.5	18.0	26.3	3.6	17.4	52.7	3.0	12.0	10.8	4.2	70.1
★Ⅰ ネブライザーの実施	3.6	7.2	18.0	11.4	55.7	4.2	70.1	18.6	0.0	4.2	2.4	4.8	70.1
Ⅱ リラクゼーション	3.6	17.4	28.1	17.4	25.7	7.8	24.0	46.7	6.6	4.2	11.4	7.2	70.7
Ⅱ 中心静脈内注射の準備・介助・管理	7.8	7.8	28.7	16.8	35.3	3.6	25.7	44.9	6.0	10.2	9.0	4.2	70.7
Ⅱ 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	6.6	9.0	31.1	16.8	32.9	3.6	16.2	55.1	3.6	9.0	12.0	4.2	71.3
Ⅱ 薬剤・放射線暴露防止策の実施	7.2	10.8	16.2	20.4	40.1	5.4	24.0	47.9	3.6	7.2	10.8	6.6	71.9
Ⅱ 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	1.2	10.2	26.3	24.6	33.5	4.2	19.8	53.9	1.2	9.6	11.4	4.2	73.7
Ⅱ 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	2.4	10.2	14.4	18.6	50.9	3.6	16.2	62.3	1.8	7.2	8.4	4.2	78.4
Ⅱ 精神的安寧を保つための看護ケア	1.2	9.0	27.5	21.6	34.1	6.6	23.4	55.7	2.4	5.4	7.2	6.0	79.0
Ⅱ 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	6.6	7.8	33.5	21.0	27.5	3.6	36.5	44.3	2.4	7.2	6.0	3.6	80.8
★Ⅱ 経管栄養法	4.2	6.6	13.2	13.2	58.7	4.2	68.9	15.0	3.6	5.4	1.8	5.4	83.8

「目標の目安」に達している者の合計の割合



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目 : 目標の目安を基準とした到達度

実施頻度「全くない」「ほとんどない」の割合の合計が10%以上での到達状況<200~499床>

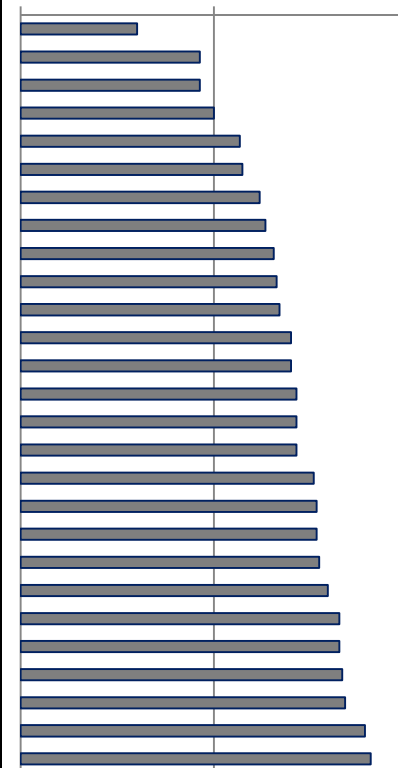
200~499床
実地指導者(n=136)

200~499床
実地指導者(n=136)

★:1年以内に経験し修得を目指す項目	看護活動の実施頻度					到達度					目標の目安を基準とした到達度の合計の割合		
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無回答	1 一人でする	2 指導を受けてできる	3 演習でできる	4 知識としてわかる		5 わからない	無回答
【到達の目安】 I : できる II : 指導のもとでできる III : 演習でできる IV : 知識としてわかる													
★ I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	7.4	22.1	27.9	10.3	30.1	2.2	30.1	30.1	14.7	13.2	8.1	3.7	30.1
★ I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	4.4	25.7	6.6	6.6	52.9	3.7	46.3	34.6	1.5	12.5	2.9	2.2	46.3
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	4.4	11.0	27.9	17.6	36.0	2.9	46.3	40.4	2.2	5.1	0.7	5.1	46.3
★ I チームメンバーへの応援要請	5.1	21.3	26.5	18.4	26.5	2.2	50.0	25.0	11.0	8.1	2.9	2.9	50.0
II 止血	11.8	35.3	29.4	11.0	8.8	3.7	11.8	44.9	17.6	16.9	5.1	3.7	56.6
★ II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)	6.6	24.3	44.9	7.4	14.7	2.2	13.2	44.1	16.9	16.2	6.6	2.9	57.4
★ III 気管挿管の準備と介助	24.3	46.3	16.2	5.1	5.1	2.9	3.7	23.5	34.6	26.5	8.8	2.9	61.8
I 入浴介助	6.6	4.4	13.2	16.9	55.1	3.7	63.2	25.0	2.2	2.9	1.5	5.1	63.2
★ III 人工呼吸	34.6	37.5	16.9	3.7	4.4	2.9	3.7	19.1	42.6	23.5	8.1	2.9	65.4
IV 人工呼吸器の管理	32.4	13.2	19.9	12.5	18.4	3.7	8.1	26.5	7.4	24.3	28.7	5.1	66.2
★ III 閉鎖式心臓マッサージ	28.7	43.4	19.1	3.7	2.2	2.9	6.6	19.9	40.4	22.1	6.6	4.4	66.9
II 包帯法	9.6	33.8	19.1	16.9	16.9	3.7	26.5	43.4	7.4	11.0	6.6	5.1	69.9
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	5.9	14.0	23.5	20.6	32.4	3.7	25.7	44.1	9.6	8.1	8.1	4.4	69.9
★ III 気道確保	16.2	44.9	22.8	5.1	7.4	3.7	8.8	27.2	35.3	21.3	4.4	2.9	71.3
II 体位ドレナージ	5.9	14.7	20.6	25.0	29.4	4.4	20.6	50.7	9.6	9.6	4.4	5.1	71.3
★ I ネブライザーの実施	4.4	8.1	15.4	16.9	52.2	2.9	71.3	19.9	2.2	2.9	0.7	2.9	71.3
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	3.7	11.0	17.6	14.0	50.0	3.7	31.6	44.1	4.4	11.8	4.4	3.7	75.7
II リラクゼーション	5.9	13.2	19.9	23.5	33.8	3.7	41.9	34.6	2.2	11.8	5.9	3.7	76.5
I 浣腸	2.9	8.1	22.1	27.2	37.5	2.2	76.5	17.6	0.7	1.5	0.0	3.7	76.5
II 精神的安寧を保つための看護ケア	2.9	7.4	20.6	30.9	34.6	3.7	30.9	46.3	2.9	9.6	6.6	3.7	77.2
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	4.4	16.2	24.3	22.1	29.4	3.7	27.2	52.2	8.1	6.6	2.2	3.7	79.4
II 麻薬の主作用・副作用の観察	5.1	15.4	27.9	18.4	29.4	3.7	30.1	52.2	1.5	8.1	3.7	4.4	82.4
II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	3.7	8.1	35.3	25.0	24.3	3.7	35.3	47.1	5.1	7.4	1.5	3.7	82.4
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	2.2	11.0	31.6	23.5	28.7	2.9	18.4	64.7	4.4	6.6	2.9	2.9	83.1
II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	2.9	8.8	22.8	19.9	41.2	4.4	23.5	60.3	2.2	8.1	0.7	5.1	83.8
II 摘便	3.7	8.8	27.2	19.1	38.2	2.9	66.2	22.8	2.2	2.2	0.7	5.9	89.0
★ II 経管栄養法	4.4	12.5	14.7	22.8	43.4	2.2	60.3	30.1	2.2	2.2	1.5	3.7	90.4

「目標の目安」に達している者の合計の割合

0.0 50.0 100.0



* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目 : 目標の目安を基準とした到達度

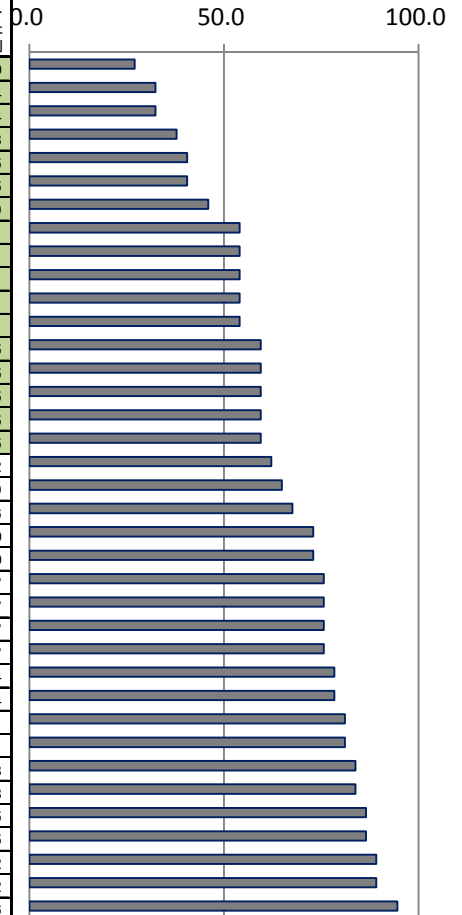
実施頻度「全くない」「ほとんどない」の割合の合計が10%以上での到達状況<500床以上>

500床以上
実地指導者(n=37)

500床以上
実地指導者(n=37)

★:1年以内に経験し修得を目指す項目	看護活動の実施頻度					到達度					到達度の合計の割合	目標の目安を基準とした到達度の割合	
	1 全くない	2 ほとんどない	3 時々	4 しばしばある	5 日常的にある	無 回答	1 一人 で できる	2 指 導 を 受 け て で き る	3 演 習 で で き る	4 知 識 と し て わ か る			5 わ か ら な い
【到達の目安】 I:できる II:指導のもとでできる III:演習でできる IV:知識としてわかる													
II 止血	24.3	51.4	10.8	10.8	2.7	0.0	8.1	18.9	21.6	35.1	16.2	0.0	27.0
★I チームメンバーへの応援要請	8.1	29.7	29.7	18.9	10.8	2.7	32.4	37.8	13.5	16.2	0.0	0.0	32.4
★I 施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明する	10.8	16.2	40.5	8.1	24.3	0.0	32.4	32.4	18.9	10.8	5.4	0.0	32.4
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	0.0	21.6	16.2	18.9	43.2	0.0	37.8	43.2	10.8	2.7	2.7	2.7	37.8
★I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	8.1	18.9	13.5	8.1	43.2	8.1	40.5	40.5	2.7	10.8	2.7	2.7	40.5
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	5.4	13.5	29.7	10.8	40.5	0.0	40.5	37.8	2.7	10.8	5.4	2.7	40.5
★I 意識レベルの把握	5.4	16.2	18.9	10.8	48.6	0.0	45.9	32.4	2.7	10.8	8.1	0.0	45.9
★III 閉鎖式心臓マッサージ	45.9	45.9	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	10.8	40.5	29.7	16.2	0.0	54.1
★II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)体位ドレナージ	8.1	29.7	43.2	5.4	10.8	2.7	10.8	43.2	21.6	21.6	2.7	0.0	54.1
II 体位ドレナージ	13.5	18.9	27.0	18.9	21.6	0.0	8.1	45.9	5.4	27.0	10.8	2.7	54.1
★III 気管挿管の準備と介助	29.7	43.2	18.9	2.7	5.4	0.0	0.0	16.2	37.8	29.7	16.2	0.0	54.1
★III 人工呼吸	48.6	37.8	10.8	0.0	2.7	0.0	0.0	16.2	37.8	29.7	16.2	0.0	54.1
II 包帯法	13.5	35.1	24.3	10.8	16.2	0.0	10.8	48.6	10.8	5.4	18.9	5.4	59.5
★I ネプライザーの実施	5.4	16.2	18.9	5.4	54.1	0.0	59.5	27.0	2.7	8.1	0.0	2.7	59.5
I 導尿	2.7	16.2	24.3	27.0	29.7	0.0	59.5	24.3	10.8	2.7	2.7	0.0	59.5
I 入浴介助	8.1	13.5	13.5	18.9	45.9	0.0	59.5	27.0	2.7	5.4	5.4	0.0	59.5
★III 気道確保	27.0	35.1	24.3	10.8	2.7	0.0	2.7	29.7	27.0	21.6	16.2	2.7	59.5
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	13.5	18.9	18.9	18.9	29.7	0.0	27.0	35.1	10.8	8.1	16.2	2.7	62.2
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	13.5	10.8	24.3	18.9	32.4	0.0	18.9	45.9	8.1	16.2	10.8	0.0	64.9
★I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	2.7	8.1	8.1	16.2	64.9	0.0	67.6	18.9	2.7	8.1	0.0	2.7	67.6
IV 人工呼吸器の管理	32.4	18.9	21.6	18.9	8.1	0.0	0.0	35.1	5.4	32.4	27.0	0.0	73.0
★I 口腔ケア	5.4	13.5	2.7	5.4	73.0	0.0	73.0	24.3	2.7	0.0	0.0	0.0	73.0
II 摘便	8.1	29.7	13.5	24.3	24.3	0.0	40.5	35.1	5.4	8.1	10.8	0.0	75.7
II リラクゼーション	5.4	24.3	18.9	21.6	29.7	0.0	29.7	45.9	8.1	8.1	8.1	0.0	75.7
II 食生活支援	5.4	10.8	21.6	21.6	37.8	2.7	40.5	35.1	8.1	5.4	5.4	5.4	75.7
I 浣腸	8.1	8.1	10.8	32.4	40.5	0.0	75.7	8.1	2.7	8.1	5.4	0.0	75.7
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	5.4	13.5	21.6	16.2	43.2	0.0	16.2	62.2	5.4	10.8	5.4	0.0	78.4
II 精神的安寧を保つための看護ケア	2.7	10.8	24.3	21.6	40.5	0.0	21.6	56.8	10.8	5.4	5.4	0.0	78.4
★II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	0.0	13.5	13.5	21.6	51.4	0.0	16.2	64.9	8.1	8.1	2.7	0.0	81.1
★II 経管栄養法	16.2	8.1	16.2	16.2	43.2	0.0	64.9	16.2	5.4	2.7	10.8	0.0	81.1
★II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	2.7	10.8	24.3	18.9	43.2	0.0	24.3	59.5	2.7	13.5	0.0	0.0	83.8
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	2.7	10.8	13.5	16.2	54.1	2.7	37.8	45.9	8.1	2.7	5.4	0.0	83.8
II 麻薬の主作用・副作用の観察	0.0	13.5	24.3	21.6	40.5	0.0	21.6	64.9	2.7	8.1	2.7	0.0	86.5
★II 食事介助	10.8	10.8	13.5	29.7	32.4	2.7	62.2	24.3	2.7	5.4	5.4	0.0	86.5
★I ベッドメイキング	0.0	13.5	8.1	18.9	59.5	0.0	89.2	5.4	5.4	0.0	0.0	0.0	89.2
II 入眠・睡眠への援助	2.7	10.8	18.9	21.6	43.2	2.7	40.5	48.6	0.0	5.4	5.4	0.0	89.2
II 創傷処置	0.0	10.8	18.9	29.7	40.5	0.0	18.9	75.7	0.0	0.0	2.7	2.7	94.6

「目標の目安」に達している者の合計の割合



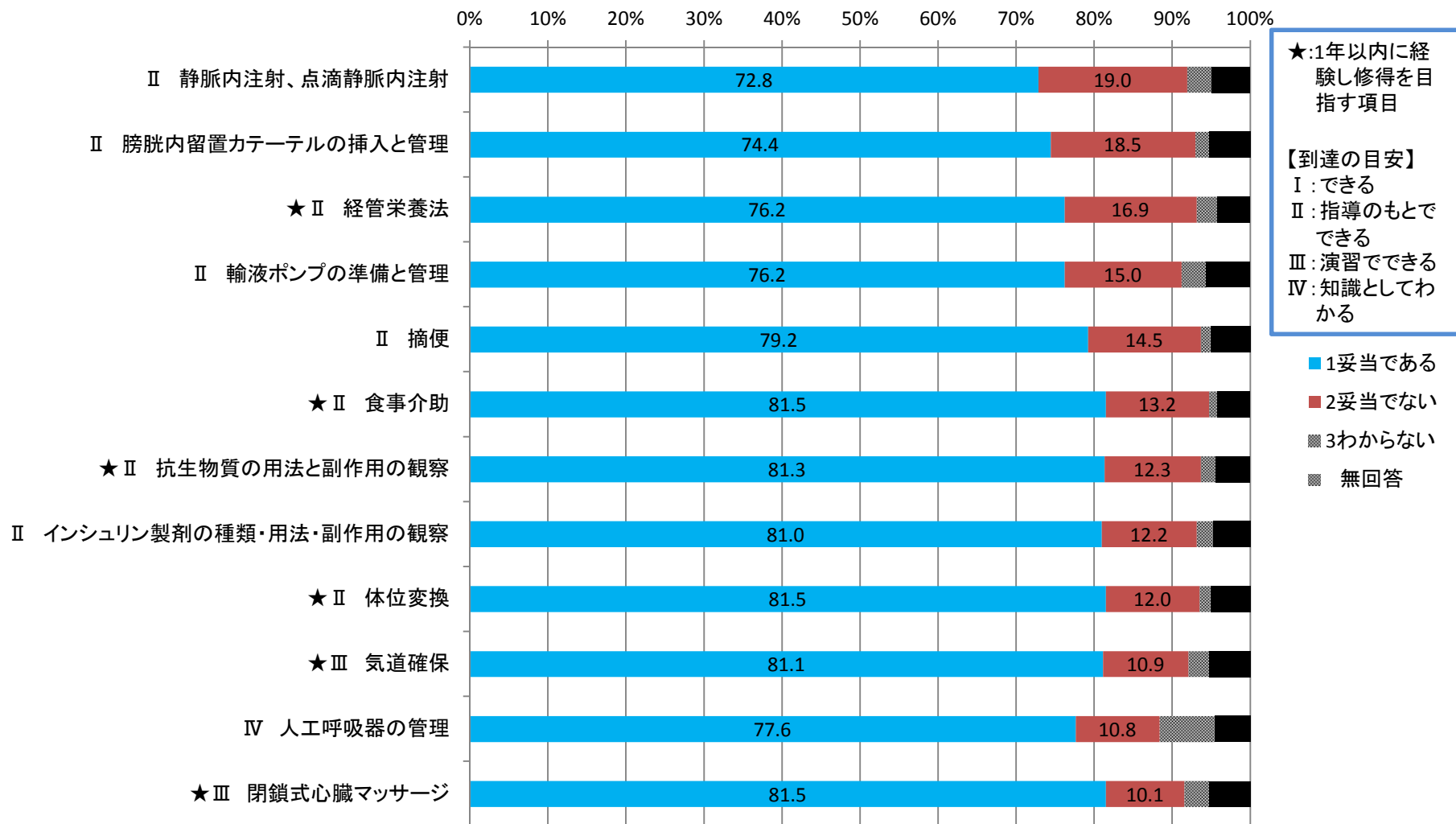
* : 「全くない」「ほとんどない」いずれかの割合が10%以上の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度の合計の割合が60%未満の項目
 : 目標の目安を基準とした到達度

3) 到達目標の妥当性

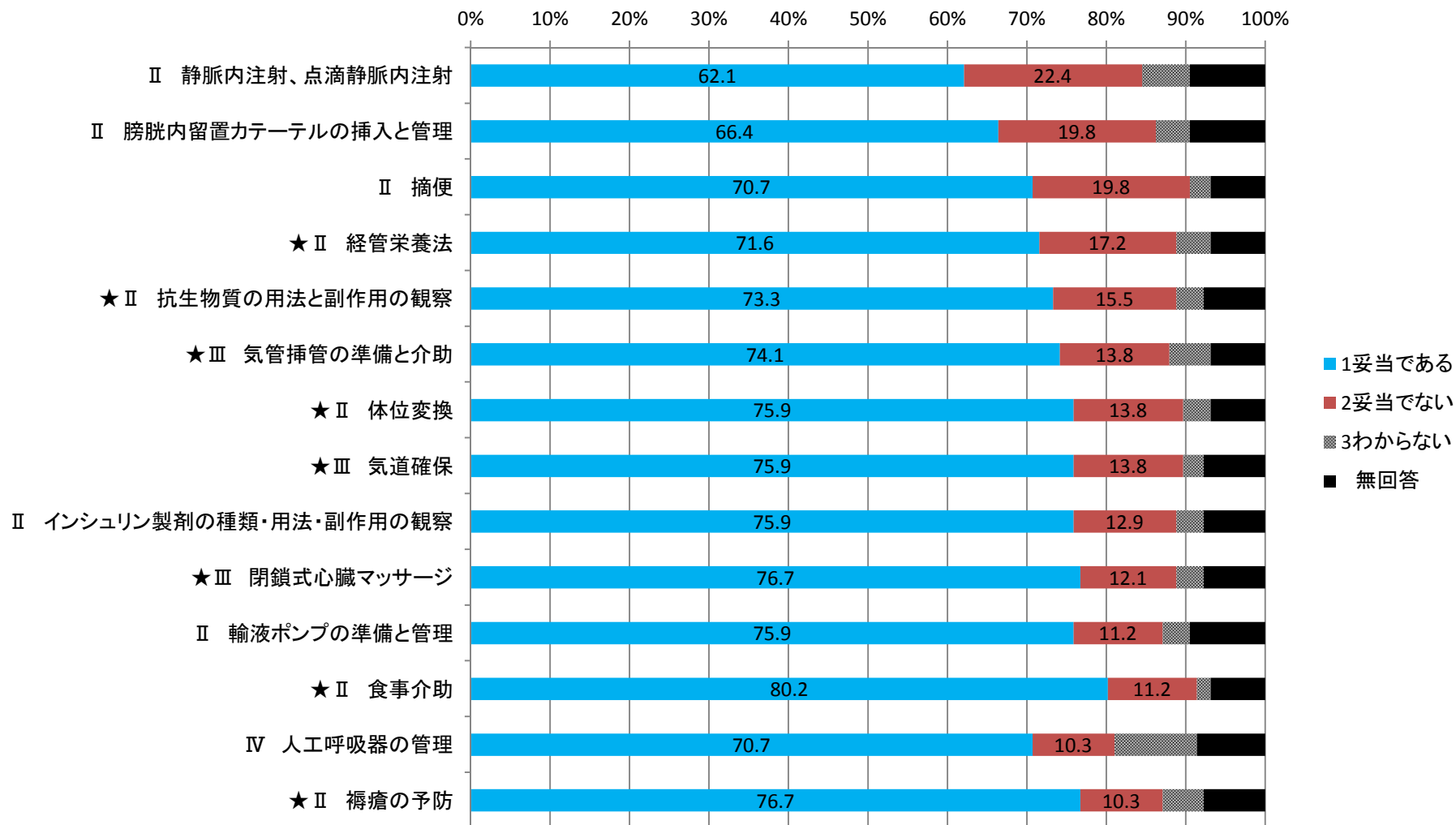
- 病院に勤務する教育担当者の無記名自記式質問紙法による実態調査結果
- 教育担当者が到達目標の妥当性(※1)を回答

※1 妥当性については、到達目標として高いか低いかという点、項目として使いやすいかという点から判断し、「妥当である」「妥当でない」「わからない」で回答。

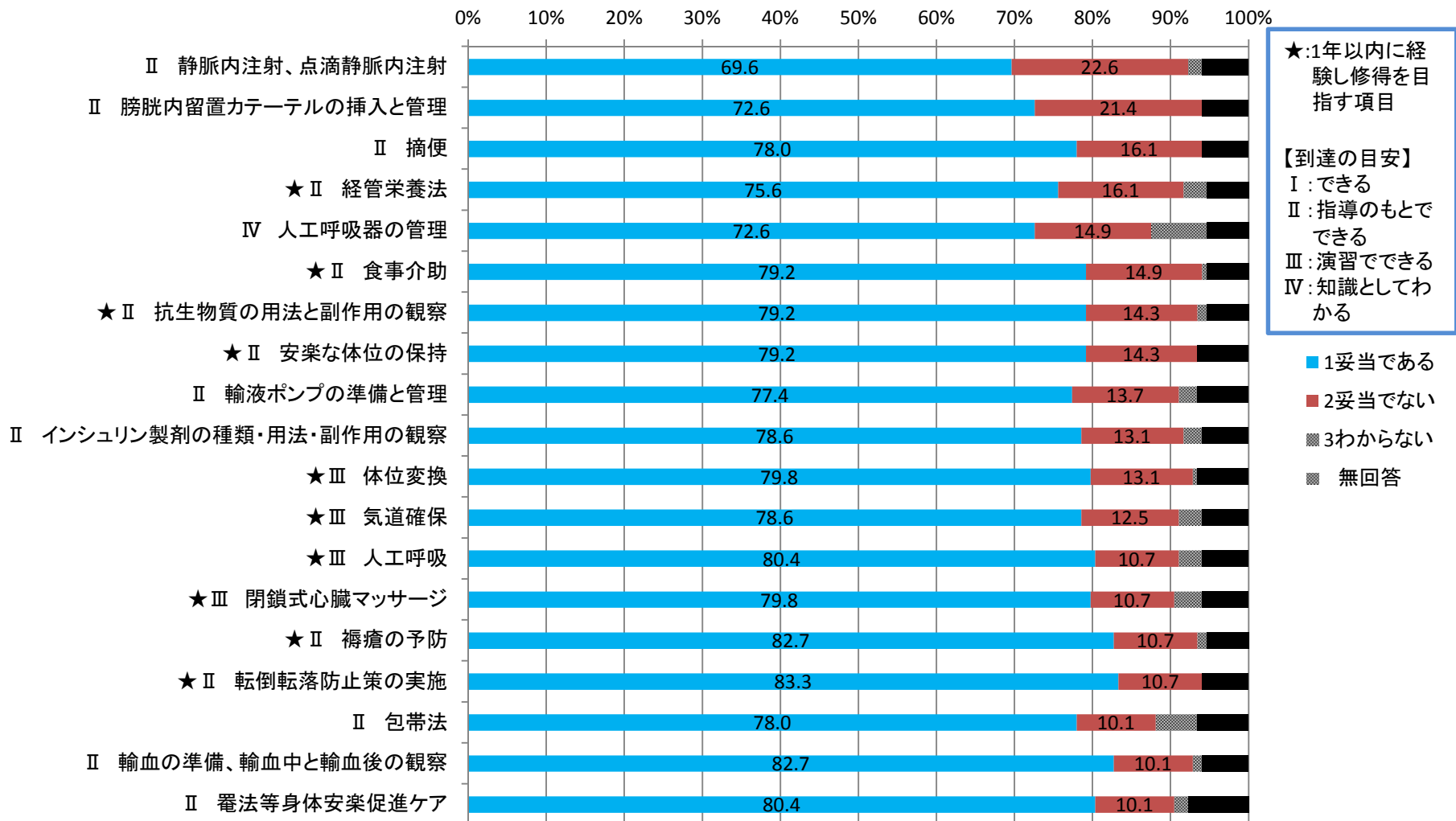
到達目標の妥当性<病院全体> 「妥当でない」が10%以上の項目



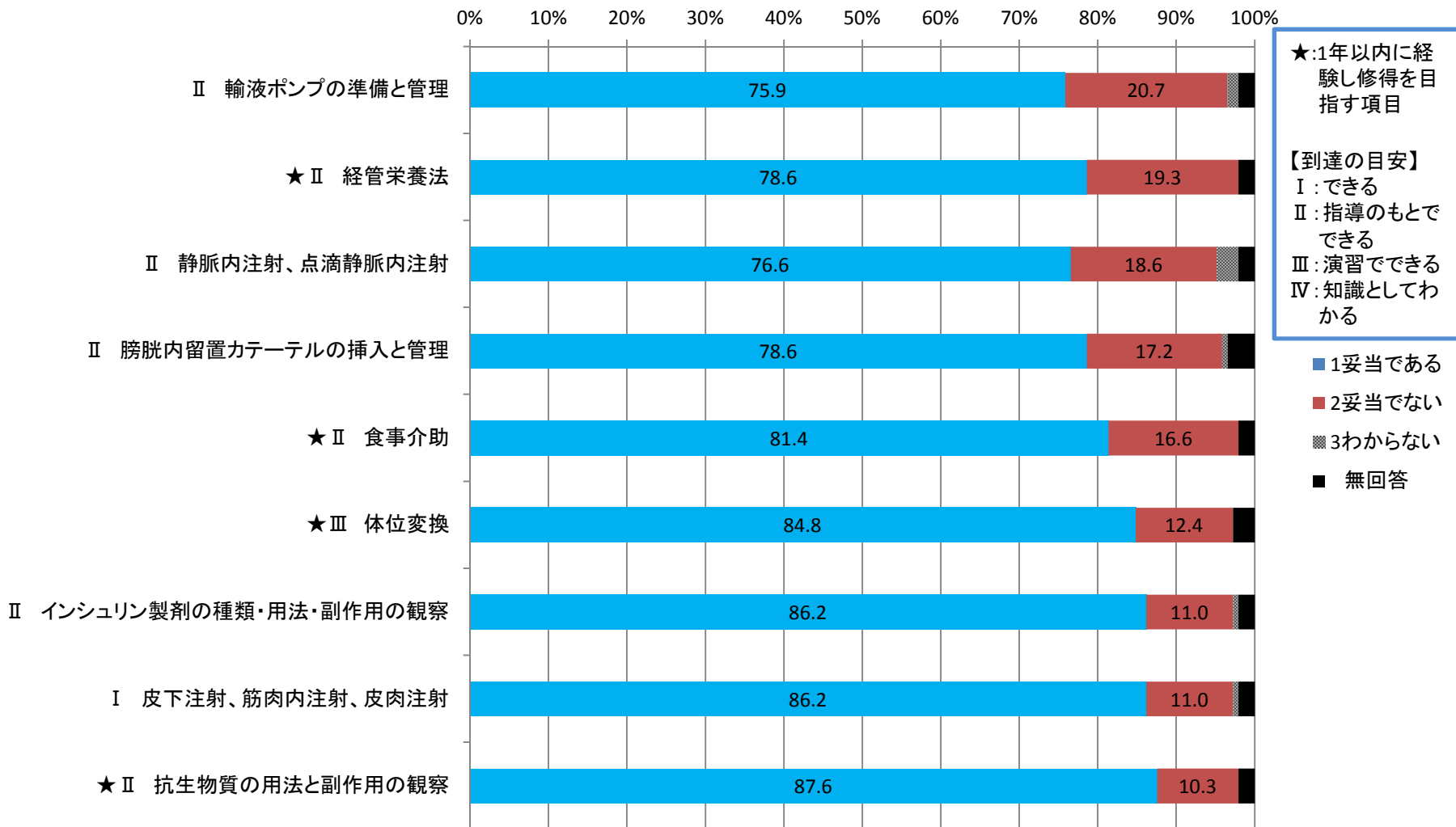
到達目標の妥当性<20~99床> 「妥当でない」が10%以上の項目



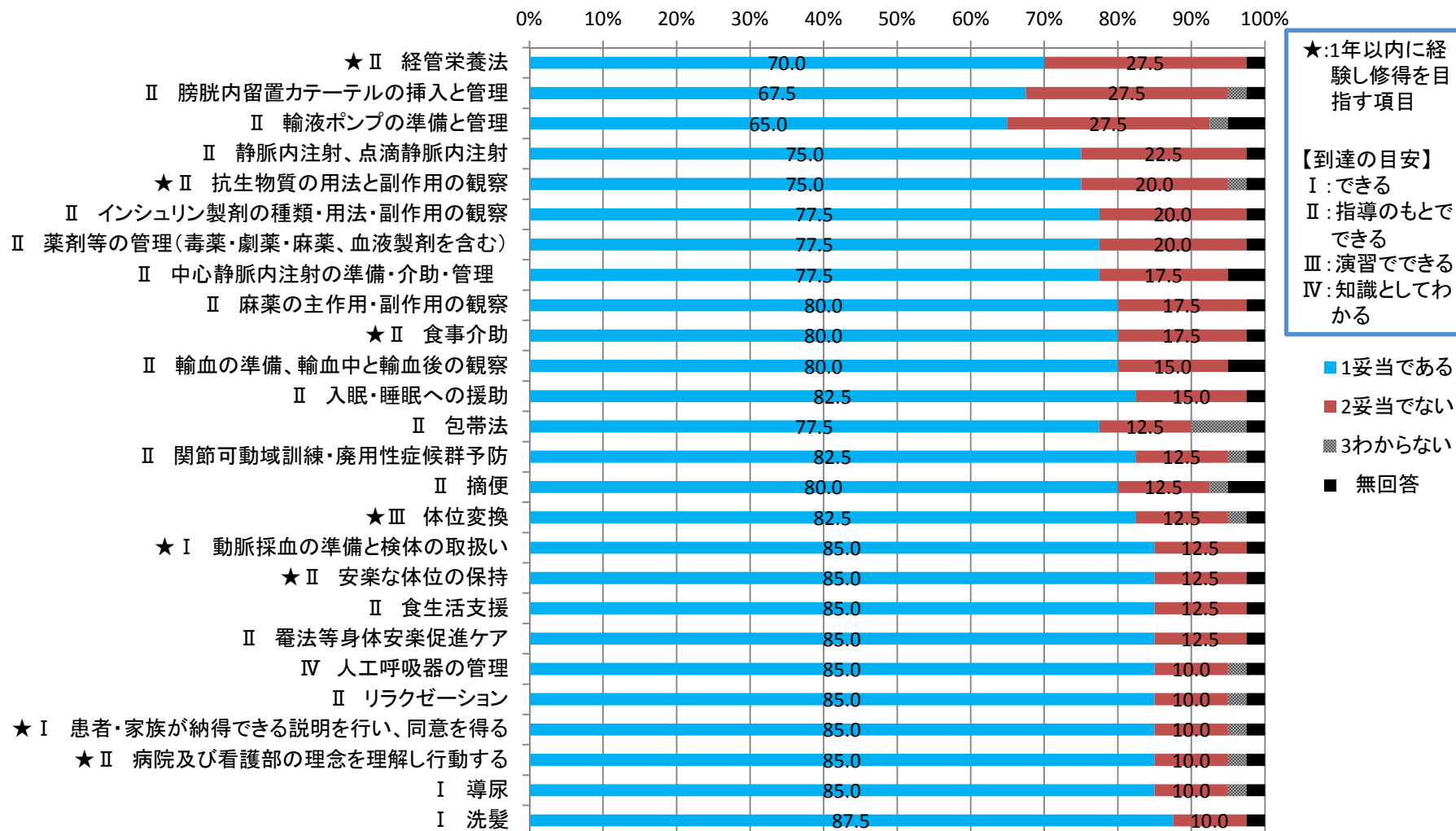
到達目標の妥当性<100~199床> 「妥当でない」が10%以上の項目



到達目標の妥当性<200~499床> 「妥当でない」が10%以上の項目



到達目標の妥当性<500床以上> 「妥当でない」が10%以上の項目



「妥当でない」という理由について

(自由記載より)

項目	ガイドライン が示す到達 の目安	意見の例
救命救急処置技術: ④閉鎖式心臓マッサージ	Ⅲ★	実地指導者と教育担当者と意見がわかれる 教育担当者は「Ⅱ」が妥当との意見。実地指導者は、新人により経験できる人とできない人がいるため難しい等の意見
救命救急処置技術: ⑤気道挿管の準備と介助	Ⅲ★	Ⅱでも良いという意見。 教育担当者は指導の下でもできてほしいという意見と実施する機会がないという意見にわかれる。実地指導者には新人には難しいという意見がある。
救命救急処置技術: ⑥止血	Ⅱ	どういった「止血」なのか、という意見が多くみられた。 捉え方によって異なるを考える。
苦痛の緩和・安楽確保の技術: ③リラクゼーション	Ⅱ	多様な意見。 何をさしているのか不明、大きすぎる項目、という意見が多くあった。一方Ⅰでもよい、機会がないためⅢでもⅣでも良いという意見もあり。
苦痛の緩和・安楽確保の技術: ④精神的安寧を保つための看護ケア	Ⅱ	多様な意見。 何が到達目標となるのか具体的にわかりにくい、定義があいまいでわかりにくい等の意見。 Ⅰでもよい、機会がないためⅢでもⅣでも良いという意見もあり。
安全確保の技術: ④薬剤・放射線暴露防止策の実施	Ⅱ	Ⅰ(★:教育担当者)でよいという意見が多い。 機会がないため、Ⅲでも良いという意見もあり。
安全管理: ①施設における医療安全管理体制について理解する	Ⅰ★	Ⅱでよいという意見が大多数。 1年目では難しい、指導の下で十分であるという意見。実地指導者からは、「私でもまだできていない」という意見もあり。
災害・防災管理: ①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	Ⅱ★	意見が分かれる。 「先輩でもできていない人がいる」「演習レベルでよい」「★はいらない」「Ⅰでないと困る」等の意見。
災害・防災管理: ②施設内の消火設備の定位置と非難ルートを把握し患者に説明する	Ⅰ★	Ⅱでも良いのではないかと意見が多数。 「理解しているかどうかをどのように把握すればよいか不明」という意見もあり。

「妥当でない」という理由について

(自由記載より)

項目	ガイドライン が示す到達 の目安	意見の例
食事援助技術： ③経管栄養法	Ⅱ★	Iでよいという意見が多数 毎日行うことである、夜勤の前にできるようになってもらわないと困る等の意見
排泄援助技術： ③膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	Ⅱ	Iでよいという意見が多数 導尿がIであるのにⅡであるのは疑問、頻度が高い、日常のことであるから、という意見
排泄援助技術： ④摘便	Ⅱ	意見が分かれる 禁忌としている、指導の下でよい、I★にしてほしい等
活動・休息援助技術： ③関節可動域訓練・廃用性症候群予防	Ⅱ	意見が分かれる Iでよいという意見、療法士の専門領域であり看護師の項目として妥当であるのかという意見、必要だがⅢ★が妥当では等々
呼吸・循環を整える技術： ⑤体位ドレナージ	Ⅱ	概ねⅢでよいのではという意見 容易にできるものではない、体位交換と一緒に、対象患者が少ない等
呼吸・循環を整える技術： ⑥人工呼吸器の管理	Ⅳ	ⅡないしⅢが妥当であるとの意見 夜勤でみてもらわないと困る等の意見。一方対象患者がいないという意見もあり。
創傷管理技術： ③包帯法	Ⅱ	Iが妥当、Ⅲでよいという意見 必要とされる部署ではI、実際に行うことが少ないというところはⅢ
与薬の技術： ③静脈内注射、点滴静脈内注射	Ⅱ	I★が妥当ではないか 夜勤の時にできないと困る、日常的にあることなので。
与薬の技術： ④中心静脈内注射の準備・介助・管理	Ⅱ	概ねIが妥当との意見 できないと人数不足になる、夜勤が困る等。一方でORで入れてくる、精神科なのでⅢ、Ⅳが妥当との意見も。
与薬の技術： ⑤輸液ポンプの準備と管理	Ⅱ	I(★)が妥当。 日常的にあり、夜勤でもみてもらうため。一方機会がない等の意見もあり。
与薬の技術： ⑩薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	Ⅱ	意見が分かれる。 頻度が高いためI★が妥当との意見、まったく扱わないためⅢ、Ⅳが妥当との意見
救命救急処置技術： ②気道確保	Ⅲ★	実地指導者と教育担当で意見がわれる 教育担当は「Ⅱ(★)」が多数、実地指導者は新人にはやらせないため「Ⅲ」でよいという意見と「Ⅱ」が良いという意見
救命救急処置技術： ③人工呼吸	Ⅲ★	実地指導者と教育担当で意見がわれる 教育担当は「Ⅱ」が妥当との意見、実地指導者は新人が経験することは非常に少ないができてもらわないと困るという意見もあり。